

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年1月9日

Nature:新型コロナパンデミックによる超過死亡の推計値：WHO

BMJ:コロナパンデミック中にイギリスの全死亡数が3.1%増加した

【松崎雑感】

今日は、新型コロナがもたらした死亡のインパクトについてです。

世界の人口80億人近くのうち、人口の1%弱が毎年死亡します（毎年数千万人）。

新型コロナパンデミックの2年でおよそ1500万人が亡くなったとのWHOの試算です。全死因として2年間で1億2千万人亡くなったとすれば、その10%以上は新型コロナ死亡という事になります。イギリスのような高所得国では、コロナによる超過死亡が3%程度でしたが、低中所得国では、一桁多い超過死亡となるでしょう。ちなみにこの3年間で6万人（年2万人）以上の方が新型コロナで亡くなられています。平年の年死亡数を2%上回るという事で、イギリスの推計と、おおむね一致しています。

新型コロナパンデミックによる超過死亡の推計値：WHO

Msemburi W (WHO) , et al. **The WHO estimates of excess mortality associated with the COVID-19 pandemic** [published online ahead of print, 2022 Dec 14]. **Nature**. 2022;10.1038/s41586-022-05522-2. doi:10.1038/s41586-022-05522-2

死亡統計の収集と発表はWHOの業務のひとつである。2020年初頭からの超過死亡数を追跡した。新型コロナの死亡統計は、検査キャパシティー、鑑別診断能力、新型コロナ死亡の定義が国により不十分あるいは不一致であるため、問題が多い。このパンデミックでは、新型コロナによる直接的死亡のほかに、コロナルダメージが非常に大きいため、超過死亡も多くなっている。

2020年と2021年の新型コロナによる月別超過死亡を包括的で一貫した手法で推定した。全死亡データが欠測の場合、過分散ポアソン法に基づいて推計値を出した。

この結果、**新型コロナによる超過死亡数は、公式統計で集計された542万人の2.74倍の1483万人と推定された**。WHOの6地域間で、超過死亡数には大きなばらつきが見られた。このばらつきを減らすための調査方法の改良が必要である。

コロナパンデミック中にイギリスの全死亡数が3.1%増加した

Wise J. Covid-19: UK deaths from all causes 3.1% above average during the pandemic. *BMJ*. 2022;379:o3044. Published 2022 Dec 20. doi:10.1136/bmj.o3044

国家統計局（ONS）は、コロナ前の5年間と比較して、コロナ中（2020年1月～2022年7月）にイギリスの全死亡数が3.1%増加したと発表した。

この超過死亡という指標により国や地域におけるコロナパンデミックの影響を推し量ることができる。

この指標は、コロナパンデミックによって発見や治療の遅れにより死亡した人々（コロナの間接的影響）も含んでいる。

欧州の33か国中イギリスは、16番目に超過死亡の多い国となっている。（イタリア3.5%増、スペイン1.8%増、フランス1.3%増）

超過死亡は、ブルガリアで18.2%増、ポーランドで13.3%増、ルーマニアで12.2%増。スカンディナヴィア諸国では例年以下だった（ノルウェー4.1%減、スウェーデン4.0%減、アイスランド3.9%減）。

欧州諸国のほとんどでは、65才以上の高齢者の超過死亡が、それ以下の年齢層よりも多くなっていた。イギリスの65才以上の人々はそれ以下の人々よりも8.3%超過死亡が多く、これは欧州で5番目の高さだった。

この報告書では、パンデミック中の超過死亡の増減には多くの要因が絡んでおり、解釈は慎重にすべきと述べられている。

また、心臓病、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患、認知症、肥満、喫煙により、超過死亡が増加する。

世界全体としては、高齢者の介護施設入居者の新型コロナ死亡率が高いことが分かっている。ただし、各国の人口構成や統計収集法が異なるため、国との間の比較には注意を要する。

社会経済状態、気候、エスニシティ、パンデミック対策なども国ごとの超過死亡に影響する。

OECDとWHOもまた、超過死亡に関する報告書を発表しているが、解析手法が違っていても、イギリスの超過死亡ランキングは、全体の中位であるというONS報告書とほぼ一致していた。